学校番号	３０２３

令和３年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	地理Ａ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	高等学校地理Ａ　（第一学習社）　現代地図帳（二宮書店）						
副教材等	新詳地理資料 COMPLETE　（帝国書院）						

１ 担当者からのメッセージ（学習方法等）

・世界の諸事象に目を配り、地理的観点から問題の認識や解決方法を導けるようになる。
・世界各国の自然や文化に対して親しみを持つ。

２ 学習の到達目標

・諸資料に親しみ、地理的思考力を培う。
・現代世界の地理的な諸課題を地域性や歴史的背景、日常生活との関連をふまえて考察し、現代世界の地理的認識を養う。
・地理思考を培い、国際社会に主体的に関わり生きる力を養う。

３ 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	地理的諸事象、現代的諸課題に興味・関心を抱き、それらを自分自身の生活との関わりから積極的に位置づけ、結びつけることが出来る。また、地理学習で得た知識・技能・態度を現代的諸課題の解決に生かすことが出来る。	地図化された事象を他の地理的諸事象との関わりから分析・考察解釈し、地理的概念や規則性を見出すことが出来る。また、そこから現代世界の諸課題を見つけることが出来る。そしてその課題の背景・要因・解決策を多方面から追求し、よりよい社会のあり方を環境・人権・平和の観点から提言することが出来る。	学習に必要とされる様々な資料を収集し、それらを的確に取捨選択し、調査分析することが出来る。また文献や統計の分析、野外における諸事象の観察から地理情報を見出すことが出来る。	地理的諸事象や地域性、現代的諸課題の分析・考察に必要とされる基礎的知識(用語・地名など)や基本的概念（空間・環境・地域）を身につけている。また、地域において社会生活を営むにあたって必要とされる基礎的知識や基本概念、地理的見方・考え方を身につける
評価方法	授業プリント ワークシート	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名		学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
				a	b	c	d		
前期	第1編 現代世界の特色と諸課題の地理的考察	第1章 地球儀や地図でとらえる現代世界	①球面で世界を考えよう ②世界地図の特徴を知ろう ③世界観の広がりと地図 ④国家の領域と領土問題 ⑤国家を超えた結びつき ⑥交通機関の発達と縮小する世界 ⑦情報・通信で一体化する世界 ⑧人・「もの」・資本で結びつく世界	○ ○

	第1編　現代世界の特色と諸課題の地理的考察		⑦生活・文化を支える産業の地域性	○ ○	 ○	○ ○	○ ○	d:なぜ世界に様々な地形や気候が見られるのか、また様々な地形の上で見られる人々の生活環境や気候区ごとの生活、農業、鉱工業の発達過程を理解し、現在の世界的な分布を理解し、その知識を身に付けている。	
後期		第3章　世界の諸地域の生活・文化と環境	①東南アジア ②南アジア ③東アジア ④南北アメリカ ⑤ヨーロッパ ⑥アフリカ ⑦オセアニア など	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○		○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	a:世界各地の生活と文化に関心を持ち異文化理解を深めるとともに、他者を尊重し，世界の人々と交流を進めようとする態度が身についている。また、現代世界の政治・経済の激動の中で、人々の生活や文化がどのように変化しているかについて関心をもつと同時に，意欲的に学習に取り組むことができる。 b:地域の産業や生活・文化等は歴史や自然環境が反映されていることに気づき、また異文化について多面的・多角的に考察し、理解、尊重することが必要だと考えることができる。 c:地図やグラフ、新聞、インターネットなどを活用して世界の諸地域に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表にまとめたりしている。 d:世界の諸地域について、自然環境や社会環境の学習を通して、その地域の地域性、生活の変化などを理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 プリント
		第4章　さまざまな地球的課題	①地域の違いとつながりに注目する ②人口問題 ③食糧問題 ④都市・住居問題 ⑤資源・エネルギー問題 ⑥地球環境問題 ⑦地球的課題への取り組みと国際協力	○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ 	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	a:人類が直面している地球的課題やその解決にむけての取り組みに対する関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 b:人口問題、食料問題、居住・都市問題、資源・エネルギー問題、地球環境問題などの地球的課題について、地域性をふまえて考察でき、その問題の所在や解決の方向性について、多面的・多角的に考察し、その家庭や結果を適切に表現している。 c:地球的諸課題に関する諸資料を収集し有用な情報を選択して、読み取ったり図表等にまとめたりしている。 d:先進国と発展途上国では人口・食糧・都市・資源・環境等で対照的な問題があり、その解決に向けた世界的な取り組みと地域的な取り組みを理解し、その知識を身に付けている	定期テスト プリント

	第2編　生活圏の諸課題と地理的考察	第1章　日常生活と結びついた地図	①地図を持って生活しよう ②身近な地図を読みこなそう ③地図表現について考えよう ④地形図を活用しよう	○ 	 ○ ○ ○	 ○ ○ ○	○ 	a:身近にある様々な地図を収集して、地図を読む楽しさに関心を高め、観光地図や地形図の読図、統計地図の作図など各種作業学習に意欲的に追究しようとしている。 b:様々な地図の読図や等高線や地図記号等の読図により、新旧地形図の比較を行い、変更点を地図上に表現することができる。 c:様々な地図を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:様々な作業を行い地形図を読む際の決まりを知識として身に付けている。	定期考査 プリント
		第2章　自然環境と防災	①日本の自然と生活 ②自然災害に備えた暮らし	○ ○	○ 	 ○	○ ○	a:日本の各地域の生活を、気候・地形等の自然条件から確認することや、身近な地域で起こりやすいとされる災害に対して関心を高め、意欲的に追究しようとしている b:地形と人々の生活の関わりについて歴史的背景を踏まえ近代の生活環境の変化や日本の気候と農業、河川の関係性から多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現できる。 c:ハザードマップを収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:火山災害，水害，地震について，現象やこれまで受けてきた被害やそれらについての対処方法を理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 プリント
		第3章　生活圏の地理的な諸課題と地域調査	①地域調査の方法 ②水の恵みのまち「川北町」を考える	○ ○	○ 	 ○	○ 	a:地域調査について、なぜ必要かを理解し、調査の基本をマスターし、積極的に調査を行おうとしている。 b:地域調査の結果を、ＧＩＳを使った地図やグラフ化したり、報告書をまとめ、発表したりすることができる。 c:地域調査の一環として，的確に資料収集し図表にまとめたりしている。 d:地域調査の方法を，的確に身につけている。	プリント 振り返りシート

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現
c:資料活用の技能　d:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。